

日本スケート連盟 医事委員会アンチ・ドーピング部会 アウトリーチプログラム報告書

対象競技会：2023-2024 全日本ノービススピードスケート競技会 富士吉田大会

対応者

日本スケート連盟医事委員会 アンチ・ドーピング部会 三宮恵利子・鈴木 靖
シンボルアスリート 高木菜那

2024年1月20日

参加選手 76名、サポートスタッフ 30名、その他 33名

配布物 使用可能薬リスト 200部 クリーンアスリートガイドブック 200部

【1月20日】当日配布数 アンチ・ドーピングクイズ 100部、使用可能薬リスト 100部
アンチ・ドーピングのルール 100部

10時00分 富士急ハイランドセイコオーバル1階入口付近にブースを設置

10時30分 代表者会議で、競技会日程の変更について協議

悪天候により競技会を20日の一日で実施することで決定

日本スケート連盟風間氏に連絡、競技会日程変更の連絡

シンボルアスリートの高木菜那さんは当初、21日の対応であったが、急遽、20日の対応を
していただけることとなった。その旨も日本スケート連盟に報告済み。

11時30分 業務開始

14時00分 競技開始

選手にアンチ・ドーピングの説明とガイドブック及び使用可能薬リストの配布

17時45分 競技終了

18時10分 閉会式 業務終了

(説明)

- ・ 使用可能リストはスマホ等にデータとして持参することを推奨
- ・ JADA GlobalDRO の使用方法
- ・ サプリメントについて

(質問)

Q 学校の保健室で薬をもらう事があるが大丈夫か？

A 現在の年齢はドーピング検査の対象ではないが、今後競技を続けていく上で、薬についての注意は必要

Q ドーピング検査は小学生も対象となっているのか。

A 現時点では対象外であるが、薬の使用について注意する意識を持つことが大切と説明

Q 競技によっては、薬を飲んでよい期間が決まっていると聞いているが、そのような事があるのか？

A 競技によっては、競技会期間中の服用を禁止したり、様々なことがあると聞いている。JADAのホームページからGlobalDROで薬名と競技を入れると、そのような情報を得ることができる。ただ100%正確な情報とは限らないため、医師、スポーツファーマシストや競技団体の医事部門に確認するとよい。



感想

2日日程の全日本ノービスであったが、21日(2日目)の悪天候を考慮して1日日程ですべての競技を行う予定に変更になった。1日も雪が降っており好条件でのレースではなかった。

アンチ・ドーピング活動ブースは主催者側の協力もいただき、エントランス部分に設置した。

小学生、中学生及び保護者の方々がレースの合間にブースに来ていただき、子供たちは全員クイズを行ったが、全ての選手が間違えることなく回答してくれた。

シンボルアスリートの高木菜那さんが到着してからは、多くの子どもたちが集まって話を聞いてくれて保護者も含め多くの方に啓発ができた。

最後に、ブースの設置や運営において山梨県スケート連盟の皆さんにご協力をいただき、心より感謝いたします。